

Proceeding of the Complement Symposium
Vol.47 (2010)



会 期 : 2010年9月10日 (金) ・ 11日 (土)
会 場 : コラッセふくしま (福島市三河南町1-20)
集会長 : 福島県立医科大学免疫学講座
藤田 禎三

〒960-1295 福島市光が丘1
Tel:024-547-1146
E-mail:tfujita@fmu.ac.jp

第47回補体シンポジウム参加案内

- 会場 コラッセふくしま 4F・多目的ホール (福島駅西口)
- 受付 第1日 9月10日(金) 12時より
コラッセふくしま 4F・多目的ホール前にて
参加費 一般 5,000円 学生 2,000円
懇親会費 3,000円
*いずれも会場受付にてお支払い下さい。
- 発表方法 全て口頭発表、PCプレゼンテーションで行います。一般演題は討論を含めて15分間を予定しています。
PCは集会事務局で用意しますので、PowerPointで作成したプレゼンテーションファイル(ファイル名は演題番号+氏名)をCD-RまたはUSBメモリーにてお持ち下さい。(CD=RWおよびDVDによるデータの持ち込みはご遠慮下さい。)
・事務局で用意するPCと互換ソフトウェアは下記のとおりです。
Windows(XP) : PowerPoint2007 (2010はサポートしていません)
Mac(OS10.5) : PowerPoint2008/2004
プログラム進行上持ち込みによるプレゼンテーションは不可とします。動画を含むなどファイルの互換性に問題が予想される場合は、必ず事前に事務局までご相談下さい。ファイルの受付は、必ず発表があるセッションが始まる前までにお済ませ下さい。講演会場である多目的ホール入り口横にプレゼンテーションファイル受付カウンターがあります。
- 運営委員会 第2日 9月11日(土) 8:10~9:00 (コラッセふくしま 4F・主催者室)
- 総会 第2日 9月11日(土) 13:00~13:40 (コラッセふくしま 4F・多目的ホール)
- 懇親会 第1日 9月10日(金) 18:30~20:30 『ki-ichigo (きいちご)』
(コラッセふくしま 12F)
- 優秀賞 一般演題の中で最も優れたプレゼンテーションの演者に「第47回補体シンポジウム優秀賞」を贈呈します。なお、選考は集会長の責任で行います。
- 交通費補助 学生参加者(筆頭発表者)には、交通費の補助があります。該当者は、集会長に連絡下さい(E-mail:immunol@fmu.ac.jp)。
- 年会費 会員で年会費を未納の方、および新たに入会される方は、シンポジウム会場受付に、補体研究会事務局受付を併設致しますので、そちらでご納入下さい。
一般 : 5,000円
学生 : 3,000円 (学生証等の身分証明をご用意下さい)

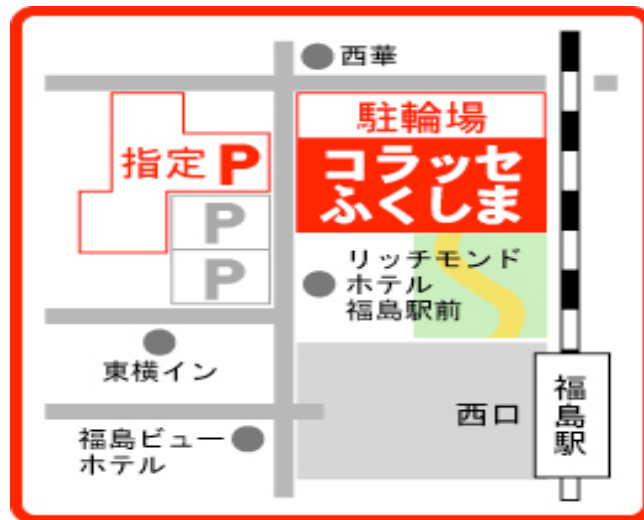
【補体研究会事務局】

〒537-8511 大阪市東成区中道 1-3-3
地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立成人病センター研究所分子遺伝学部門内
TEL: 06-6972-1181 (ext. 4101) FAX: 06-6973-5691
E-mail: hotai-kenkyukai@umin.ac.jp
ホームページ: <http://square.umin.ac.jp/compl/>

会場および交通案内

コラッセふくしまは、JR 福島駅西口から北へ 300m(徒歩 5 分)

- ◇ 東京駅 → JR 福島駅西口
(東北新幹線で約 1 時間 40 分)
- ◇ 福島空港 → JR 福島駅西口
(乗合タクシー (要予約) で約 1 時間 15 分)
- ◇ 福島空港 → JR 郡山駅 → JR 福島駅西口
(リムジンバスで約 40 分) (東北新幹線で約 15 分)
(JR 東北本線で約 50 分)
- ◇ 仙台空港-----仙台空港駅 → JR 仙台駅 → JR 福島駅西口
(仙台空港アクセス鉄道で約 25 分) (東北新幹線で約 30 分)



日 程 表

9月10日（金） 12：00 開場

12：55～13：00	開会の辞	藤田禎三
13：00～14：15	A：レクチン経路、異物認識	座長 松下 操・遠藤雄一
14：15～15：45	B：アナフィラトキシン、サイトカイン、シグナル伝達	座長 山本哲郎・井上徳光
15：45～16：15	コーヒーブレイク	
16：15～17：15	C：補体異常	座長 堀内孝彦・畑中道代
17：15～18：15	特別講演1：Complement Dysfunction and Disease 演者 Santiago Rodriguez de Córdoba	座長 木下タロウ
18：30～20：30	懇親会	

9月11日（土） 9：00 開場

9：30～10：30	D：進化、多様性	座長 野中 勝・中尾実樹
10：30～11：00	コーヒーブレイク	
11：00～12：00	特別講演2：Lectin complement pathway and coagulation 演者 Kazue Takahashi	座長 若宮伸隆
12：00～13：00	ランチョンセミナー：発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）と補体*	座長 木下タロウ
13：00～13：40	総会	
13：40～14：40	特別講演3：Complement and Autoimmune Diseases 演者 Gary S. Gilkeson	座長 岡田則子
14：40～15：00	コーヒーブレイク	
15：00～15：45	E：臓器障害、補体活性化	座長 水野正司
15：45～17：30	シンポジウム：腎疾患と補体	座長 能勢真人・関根英治
17：30	優秀賞表彰式・閉会の辞	藤田禎三

*ランチョンセミナーの講演要旨・資料は当日配布の予定です。

第 47 回補体シンポジウム・学術プログラム

第 1 日 9 月 10 日 (金)

A: レクチン経路、異物認識

13:00~14:15

座長 松下 操・遠藤雄一

A-1 補体 D 因子前駆体を活性化する MASP-1/3 複合体の解析

高橋 実¹、岩城大輔¹、遠藤雄一¹、Kazue Takahashi²、藤田禎三¹

¹福島県立医大・医学部・免疫、

²ハーバード大・医学部・マサチューセッツ総合病院

A-2 MBL による補体第二経路活性化機構の解析

立石恒一郎¹、國廣佳孝²、Norafila Humrawali²、松下 操^{1,2,3}

東海大学・¹大学院総合理工学研究科、²大学院工学研究科、

³工学部生命化学科

A-3 認識分子 Ficolin 欠損マウスの表現型

遠藤雄一¹、松坂友裕¹、石田由美¹、岩城大輔¹、高橋実¹、松下操²、藤田禎三¹

¹福島県立医大・医・免疫、²東海大・工・生命化学

A-4 コレクチン CL-K1 の機能解析

大谷克城¹、吉崎隆之¹、森健一郎¹、本村亘¹、吉田逸朗¹、鈴木定彦²、若宮伸隆¹

¹旭川医大・医・微生物、

²北大人獣共通感染症リサーチセンター・国際疫学部門

A-5 Streptococcus pyogenes C6 結合タンパクのナノスケール・バイオイメーキング解析

寺尾 豊¹、浜田茂幸²、川端重忠¹

¹阪大院・歯・口腔細菌、²阪大・微研

座長 山本哲郎・井上徳光

- B-1 LPS と抗好中球抗体によりマウスに誘導されるアナフィラキシー様ショック
田中志典、永井康裕、黒石智誠、遠藤康男、菅原俊二
東北大・歯・口腔分子制御学
- B-2 ピーナッツはC4 を介して補体を活性化する
兒玉利尚、関根英治、高橋実、岩城大輔、遠藤雄一、藤田禎三
福島県立医大・医・免疫
- B-3 新型H1N1 インフルエンザの重症化における補体アナフィラトキシンの関与
太田里永子¹、伊藤嘉規²、鳥居ゆか²、木村宏³、岡田則子¹、
今井優樹¹
¹名市大・医・免疫、²名大・医・小児科、³名大・医・ウイルス
- B-4 慢性白血病由来 K562 細胞を用いたヘミン誘導性赤血球分化モデルにおける部分的
アポトーシス機構の役割
西浦 弘志、山本 哲郎
熊本大学・大学院生命科学研究部・分子病理分野
- B-5 乳酸による IL-23 非依存的な IL-17 産生増強経路
井上徳光¹、藪政彦¹、志馬寛明^{1,2}、松本美佐子²、瀬谷 司²、
赤澤 隆¹
¹大阪府立成人病センター研究所・分子遺伝学、
²北海道大学大学院医学研究科・免疫学
- B-6 樹状細胞 MyD88 経路による NK 細胞の活性化機構
瀬谷 司¹、初谷良子¹、東 正大¹、志馬寛明¹、松本美佐子¹、
井上徳光²、赤澤 隆²、藤本ゆかり³、深瀬浩一³
¹北海道大学大学院医学研究科・免疫学、²大阪府立成人病センター
研究所・分子遺伝学、³大阪大学理学部合成化学講座

座長 堀内孝彦・畑中道代

C-1 異種移植における補体の活性化と凝固の促進

三輪祐子¹、山本晃士²、羽根田正隆¹、岩崎研太¹、劉大革¹、
矢崎智子^{4,3}、岩元正樹^{4,3}、大西彰³、打田和治⁵、中尾昭公⁶、
小林孝彰^{1,6}

¹名古屋大学免疫機能制御学、²名古屋大学輸血部、
³農業生物資源研究所、⁴プライムテック株式会社、
⁵名古屋第二赤十字病院、⁶名古屋大学消化器外科

C-2 低補体血症性蕁麻疹様血管炎の1例

林 宏明¹、笹岡俊輔¹、松浦浩徳¹、秀 道広²、藤本 亘¹
¹川崎医大・皮膚科、²広島大・皮膚科

C-3 発作性夜間ヘモグロビン尿症4症例におけるヒト化モノクローナル抗C5抗体
(Eculizumab)の効果および安全性の検討

野地秀義、七島勉、高橋裕志、小川一英、竹石恭知
福島県立医科大学医学部 循環器・血液内科学講座

C-4 遺伝性血管性浮腫 (HAE) 6家系の遺伝子解析

堀内孝彦¹、塚本 浩¹、有信洋二郎¹、井上 靖¹、新納宏昭¹、吉澤 滋²、
生野英祐³、高村和人⁴、町田治久⁵、辻岡 馨⁶、前原潤一⁷、
赤司浩一¹、山本哲郎⁸

¹九州大学免疫・膠原病・感染症内科、²国立病院機構福岡病院、
³生野リウマチ整形外科クリニック、⁴福島生協病院、
⁵国立病院機構嬉野医療センター、
⁶日本赤十字社和歌山医療センター、⁷済生会熊本病院、
⁸那珂川病院

第2日 9月11日(土)

D: 進化、多様性

9:30~10:30

座長 野中 勝・中尾実樹

- D-1 節足動物における TEP 遺伝子の進化
関口玲生、上島 励、野中 勝
東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻
- D-2 古代魚ポリプテルスにおける PSMB8 遺伝子の二型性
藤戸尚子¹、塚本健太郎²、野中 勝¹
¹東京大・院理、²藤田保健衛生大・総医研・医高分子
- D-3 コイ補体レクチン経路に関連するコレクチンの異物認識多様性
一木昭土、塚本春香、柚本智軌、中尾実樹
九大院農学研究院 生命機能科学部門
- D-4 Human serum mannose-binding lectin senses wall teichoic acid glycopolymer of *Staphylococcus aureus*, which is restricted in infancy
Keun-Hwa Park¹, Kenji Kurokawa¹, Koichiro Tateishi², Hee Jung Kang³,
Misao Matsushita², Kazue Takahashi⁴, and Bok Luel Lee¹
¹National Research Laboratory of Defense Proteins, College of Pharmacy,
Pusan National University, Busan 609-735, Korea;
²Department of Applied Biochemistry; Tokai University, Hiratsuka,
Kanagawa 259-1292, Japan;
³Department of Laboratory Medicine, Hallym University College of Medicine,
Anyang-si 431-070, Korea;
⁴Programs of Developmental Immunology, Massachusetts General Hospital,
Harvard Medical School, Boston, MA 02114, USA.

特別講演 2

座長 若宮伸隆

11:00~12:00

Lectin complement pathway and coagulation
Kazue Takahashi
Harvard Medical School, Boston, USA

発作性夜間ヘモグロビン尿症 (PNH) と補体

アレクシオン ファーマ (株)

Complement and Autoimmune Diseases

Gary S. Gilkeson

Medical University of South Carolina, Charleston, USA

座長 水野正司

E-1 古典的経路による補体活性化が確認された IgG4 関連尿細管間質性腎炎の 1 症例
長町誠嗣¹、大澤 勲¹、佐藤信之¹、石井雅也¹、草場 岳¹、
小林 敬¹、武田之彦¹、堀越 哲¹、大井洋之¹、松下 操²、
富野康日己¹

¹順天堂大学医学部腎臓内科、²東海大学工学部生命化学科

E-2 正常ラット腹膜における膜補体制御因子の機能的役割
水野智博^{1,4}、水野正司^{2,3}、伊藤恭彦^{2,3}、鈴木康弘^{2,3}、
野田幸裕⁴、山田清文¹、丸山彰一³、岡田則子⁵、B. P Morgan⁶、
松尾清一³

¹名古屋大・医・医療薬学、²名古屋大・医・腎不全総合治療学、

³名古屋大・医・腎臓内科学⁴ 名城大・薬・病態解析学 I、

⁵名古屋市立大・医・免疫学、⁶カーディフ大・補体生化学グループ

E-3 ループス腎炎の糸球体における各補体経路活性化の意義
佐藤信之¹、大澤 勲¹、長町誠嗣¹、石井雅也¹、草場 岳¹、
堀越 哲¹、大井洋之¹、松下 操²、富野康日己¹

¹順天堂大学腎臓内科、²東海大学工学部生命化学科

座長 能勢真人・関根英治

- S-1 ループス腎炎における免疫複合体病理論の評価
能勢真人
愛媛大学大学院医学系研究科・ゲノム病理学分野 Thrombotic
- S-2 ループス腎炎と補体・補体第2経路を特異的に標的とする治療戦略
関根英治¹, Gary S. Gilkeson², and Stephen Tomlinson³
¹福島県立医科大学・免疫学
²Department of Rheumatology and Immunology,
³Department of Microbiology and Immunology,
Medical University of South Carolina, Charleston, SC, USA
- S-3 microangiopathy と補体
水野正司
名古屋大学大学院医学研究科 腎不全総合治療学寄附講座・腎臓内科
- S-4 IgA 腎症における補体活性を介した発症病態と治療戦略
川崎幸彦
福島県立医科大学・小児科